

主要生命保険会社の平成 24 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

保険料等収入は、貯蓄性商品の販売が好調であったことから増加。

基礎利益は、前期は東日本大震災に係る支払備金の計上の影響で減少した一方で、今期は支払備金の戻入などの特殊事情もあり、前期に比べ大幅増。

当期純利益（純剰余）は、基礎利益が増加したものの、法人税率引下げに伴う繰延税金資産取崩しの影響などにより、前期に比べ減少。

（単位：億円）

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期	前期差
保険料等収入	216,932	228,677	252,260	23,583
基礎利益	21,941	19,938	23,503	3,565
キャピタル損益	2,153	2,747	2,610	137
臨時損益	6,434	4,448	1,055	3,393
特別損益	2,594	1,133	2,572	1,438
当期純利益（純剰余）	8,504	8,469	7,709	759

2. 健全性の状況

ソルベンシー・マージン比率は、有価証券含み損益の増加により支払余力が増えたため、全体として前年度末に比べ 62.2 ポイント上昇。

（単位：億円、%）

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期	前期差
S M 比率	1026.1	592.0	654.2	62.2Pt
純資産	78,732	71,384	90,814	19,430

22 年 3 月期の S M 比率は旧基準

（注）24 年 3 月末時点で総資産 5 兆円以上の生命保険会社（かんぽ生命を除く。）14 社を集計。

主要生命保険会社の平成24年3月期決算状況＜単体ベース＞

1. 損益の状況

会社名	基礎利益		保険料等収入		変額年金等の最低保証に係る責任準備金繰入・戻入		キャピタル損益		有価証券損益(売却損益・減損)		当期純利益(純剰余)	
		前期差		前期差		前期差		前期差		前期差	(注3)	前期差
14社合計 (注1)(注2)	23,503	3,565	252,260	23,583	▲ 29	509	▲ 2,610	137	▲ 91	2,626	7,709	▲ 759
日本生命	5,443	279	53,682	4,718	8	16	▲ 1,137	▲ 158	504	1,129	2,218	▲ 98
第一生命	3,024	265	30,560	▲ 4	4	7	▲ 310	768	340	1,223	176 (866)	▲ 6 (▲ 88)
明治安田生命	3,709	604	51,840	12,394	3	9	18	142	▲ 700	74	1,720	322
住友生命	3,318	665	25,943	▲ 4,087	37	370	▲ 1,215	▲ 584	▲ 735	49	1,099	▲ 3

(出典)決算プレスリリース等

2. 健全性の状況 (単位:億円、%)

ソルベンシー・マージン比率		純資産		その他有価証券含み損益	
	前期差		前期差		前期差
654.2	62.2Pt	90,814	19,430	42,873	16,051
567.0	37.9Pt	24,901	3,812	15,265	3,294
575.9	28.2Pt	10,283	2,619	6,915	3,199
749.6	86.0Pt	17,058	4,283	11,938	3,683
708.6	72.1Pt	8,828	1,808	1,538	1,684

(参考)直近の決算

	基礎利益	保険料等収入	変額年金等の最低保証に係る責任準備金繰入・戻入	キャピタル損益	有価証券損益(売却損益・減損)	当期純利益(純剰余)
23年3月期(14社合計)	19,938	228,677	▲ 538	▲ 2,747	▲ 2,717	8,469
22年3月期(14社合計)	21,941	216,932	1,228	▲ 2,153	▲ 1,170	8,504

ソルベンシー・マージン比率 (22年3月期は旧基準)	純資産	その他有価証券含み損益
592.0	71,384	26,822
1026.1	78,732	42,060

(注1)主要生命保険会社14社

日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、三井生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック、メットライフアリコ

(注2)内訳は、平成24年3月末時点で総資産10兆円以上の生命保険会社(かんぽ生命を除く。)4社を列記。

(注3)当期純利益(純剰余)のカッコ書きは、株式会社において契約者配当準備金繰入額を控除する前の金額。